

公表:令和3年 3月 25日

事業所名 ライオン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数に応じて、ソーシャルディスタンスを保ち、充分な活動スペースを確保できるように工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置数は、法律に定めた配置基準に従って配置しています。さらに加配職員を配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段に滑り止め、手すりを設置しています。活動スペースはバリアフリーです。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の打ち合わせやクラス会議で、全職員が課題解決に努めています。	週1回のマネージャーによるグループスーパービジョンを受けながら専門的かつ適切なアドバイスをもらい、クラスの療育に繋がっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査で、保護者の困り感や意見を伺い、クラスで共有し、日々の療育に繋がっています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価はホームページで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価は行われています。評価を療育の改善に繋げるように努めています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月行われる朝研修、新人研修、リーダー研修、役割役割に応じた研修に積極的に参加しています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行い、子ども、保護者のニーズや課題をクラス会議で話し合い、デイサービス計画を作成しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの現状を捉えた上で、子どもの適応行動が増えるようにCSPを使用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス会議やグループスーパービジョン等で、活動プログラムの立案をクラス職員で行っています。	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			室内活動で内容が固定化しないように、クラス会議等で子どもの様子を考慮しながらアイデアを出し合い工夫しています。		

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は学校等の疲れを共感しながら、日々の宿題に取り組み、長期休暇は宿題等の学習課題に取り組み、挑戦できるような活動を計画しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動、集団活動を組み合わせて、それぞれの子どもの成長に繋がるようなデイサービスの計画を作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に、その日の支援内容、役割分担、活動パディを必ず打ち合わせ確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に、必ず振り返りを行い、その日の支援の良かった所、難しかった所や子どもの様子を共有しています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後に、活動への参加の様子や子どもの気になった行動を記録を毎日行なっています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、必要な時はデイサービス計画の見直しを行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			全職員、ガイドラインの総則に従った支援を子どもに合わせて行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況や家族背景を理解した関係者が会議に参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者に同意を得た上で、家庭の状況や本児の課題を共有し、連携しています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				児童発達支援センター等の専門機関と連携し、多くの研修を受けています。

保護者との連携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		公園活動の時に地域の子どもと交流することがあります。	コロナ感染対策の為積極的に交流は行われませんでした。状況を見ながら地域の方との交流を図っていこうと考えています。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や電話、送迎時に保護者と利用者の方の活動の様子を伝えると同時に、家庭での様子を聞きながら必要なニーズを理解し、家族支援を行っています。	
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者に対して、毎月のグループカウンセリングと合わせてペアレント・トレーニングを行っています。	
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者との個別面談し、丁寧な説明を行うように努めています。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩みを聞き、保護者の気持ちに寄り添い、必要な助言、支援等を行うようにしています。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会の活動を支援し、保護者同士の連携が支援できるよう努めています。	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って、できるだけ速やかに対応するよう努めています。	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			クラス便り等で、活動概要や行事予定等を、子ども保護者に対して発信しています。	
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			書庫に個人情報書類を保管し、施錠しています。	
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者との意思を汲み取れる方法を工夫し意思疎通、情報伝達の仕方に配慮しています。	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	非常時	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し保護者や職員に周知しています。
③9		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一回、水害、地震、火災等を想定した避難訓練、年一回大避難訓練を行っています。	
④0		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のアンガーマネジメント研修に参加しています。	

等 の 対 応	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			組織的に決定し、保護者に十分に説明、了解を得たうえで、支援計画書に同意を得ています。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の診断書に基づく対応をしています。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			クラス職員でヒヤリハットの事例を共有し、安全に配慮するように努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。